

今が声を届けるとき！！生活クラブの「未来へつなげる♪エネルギーアクション」
生活クラブは、今年秋の**第6次エネルギー基本計画改定**に向け、再生可能エネルギーの推進と2050年100%の実現、
原発廃止、火力発電廃止を求めアクションを起こしています。最終アクションはパブリックコメントの提出です！

ACTION

「エネルギー基本計画」に パブリックコメント出そうよ！



今、私たちや次の世代の人たちの未来を左右する大切なことが
決まろうとしています。知らないうちに決まっていますか？

「**第6次エネルギー基本計画**」は、2050年カーボンニュートラルに向け2030年にどの電源の電気をどのくらいの割合で作るかなどを示した日本のエネルギー政策の土台です。気候危機が進む今、未来を左右する大変重要なもので、多くの環境NGOや気候正義を求める若者たちも声を上げています。**まったなしの気候危機！**
私たちの命、これからの命に関わる問題です。
命が二の次になるエネルギー政策では困りますよね！

パブリックコメント(パブコメ)とは、行政機関が法令などを制定する時、事前に案や関連資料を公表し、その案について広く国民から意見を募集するものです。パブコメは個人で誰でも出すことができます。生活クラブでも出しますが、多くの人が意見を出すことで、修正の可能性が高まります。無視できない数となる必要があります。問題と思っていること、こうした方がよいと思うことを書いて送みましょう。

●計画案のここに対し、私はこういう意見を持っています
ということを書きます。「ここ」ということがはっきりしない場合は、意見対象箇所を「全体」とし、意見内容を「第6次エネルギー基本計画(案)全体へ」として出すことができます。

●計画案を、1人で読み込むのは量も多く大変です。裏面に主な問題点の該当箇所と、意見、その理由の例を挙げています。参考にしてください！

「第6次エネルギー基本計画(案)」の主な問題点

- 第5次計画と変わらず、原発の新設と建替えは盛込まれることはなかったのですが、割合は20~22%と据え置かれました。
- 世界の平均気温上昇を1.5度以内に留めるには、石炭火力発電を2030年までに0%にすることが求められているにもかかわらず、まだ19%も残っています。(火力発電全体では41%)
- 再エネの割合は36~38%と増えましたが、主力電源化すると第5次計画から言っていないながら、これでは不十分です。

パブコメの出し方は2通り！ WEB意見入力フォームで送信か、郵送で！

【提出期限】10月4日(月)

■e-gov(電子政府)のWEB意見入力フォーム

egovパブコメでWEB検索

- ①「意見募集案件一覧」から公示日9/3「エネルギー基本計画(案)に対する意見の募集について」をクリック。
- ②「意見公募要領」「意見様式」の2つのPDFを開いてから意見公募要領を確認しましたにチェックを入れる。
- ③右下の意見入力へをクリックし、次のページで文章を入力する。

※長い文章を入力する場合、ワードなどで作成し、コピー&ペーストするとよいです。

※生活クラブ生協大阪WEBサイト、公式facebookやInstagramでも提出先の案内をしています。

■郵送先 〒100-8931 東京都千代田区霞が関 1-3-1

資源エネルギー庁長官官房総務課 パブリックコメント受付担当宛

パブコメの出し方↑

※封筒に赤字で「エネルギー基本計画(案)に関する意見」と記載してください。

※意見様式PDF(A4用紙)をegov②と同じページからダウンロードして、意見を記入してください。

ダウンロードができない場合、配送で送ります。ご連絡ください。072-641-5547 組織運営課(吉田)

